



石狩市新規就農ガイドブック



農業研修生募集

【募集人数】

5人/年

【研修期間】

約2年間

【対象作物】

ミニトマトを
基幹作物とした
施設野菜



石狩市農業総合支援センター

石狩市農業総合支援センター概要

設立目的

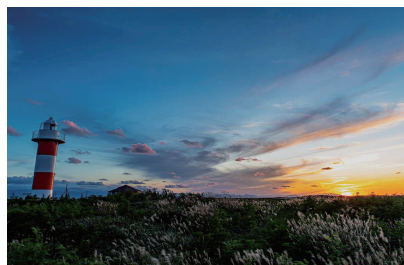
石狩市における農業の持続的発展のため、就農予定者及び新規就農者のサポート体制構築により、地域農業の振興と農業経営の安定を図り、農業者、行政、農業団体等、関係機関が一体となって取り組むことを目的に、『農業総合支援センター』を設立したものです。

- ・ 設立 2000年4月1日
- ・ 構成団体 石狩市、石狩市農業委員会、札幌市農業協同組合、北石狩農業協同組合

★石狩市のご紹介

人口：56,869人 総面積：72,242ha ※2020年国勢調査数値

北海道石狩市は、北海道の西部、石狩川の河口に位置し、石狩湾新港建設により流通関連施設の設置や企業集積が進み、札幌圏の海の玄関口として発展しているまちです。年間を通して冷涼であり夏は梅雨がないため湿度が低くて過ごしやすい、また冬期間の気温は零下10度以下になることが少ないため、四季を通じた寒暖差はそれほど大きくありません。



★石狩市の農業

農家戸数：302戸 農業者数：641人
農地面積：3,578ha ※2020年農林業センサス数値

農業については、旧石狩地域においては、大消費地の札幌に隣接する優位性を生かした都市近郊農業がおこなわれており、馬鈴薯、人参、大根、フロッコリー等の他、さやえんどう、ミニトマトなど多くの品目が栽培されています。特にミニトマトは『いしかりDE CHU!』のブランド名で出荷され、市場から評価されています。また、地産地消の拠点として、『JAいしかり地物市場とれのさと』（産地直売所）を設置し、約100戸の農家が新鮮な野菜を消費者に提供し、消費者と食と農でつながる交流の場となっています。



いしかりでミニトマトを始めた先輩たち



佐々木 洋実 (ささき ひろみ) さん
令和3年就農 出身地：石狩市

Q. いしかりで就農しようと思った動機

他地域の先輩農家の方から石狩市内の農家の方を紹介してもらい、女性でも受け入れてくれる環境が整っていて、かつ生まれ育った石狩で就農したいと思ったからです。

Q. 就農する方へのアドバイス

体力や自己資金、農業経験の有無よりも、自分がどれだけ農業をやりたいかが一番だと思いますので、まずは支援センターや農家の方の話を聞いてみる事をお勧めします。



廣井 佳蓮 (ひろい かれん) さん
令和3年就農 出身地：新潟県

Q. いしかりで就農しようと思った動機

施設園芸をやりたいと考えていて、既にミニトマトの産地としてブランド化の取り組みが進んでいた石狩市高岡地区で就農しようと思ったからです。

Q. 就農する方へのアドバイス

就農するには地域に溶け込みながら責任感を持って取り組むことが重要だと思います。きっと石狩で充実したライフワークを送れると思いますよ。



星 佳宏 (ほし よしひろ) さん
令和4年就農 出身地：札幌市

Q. いしかりで就農しようと思った動機

石狩市内で毎年実施されている「季節を楽しむ地産地消講座」や「落花生研究会」の活動に参加していく中で、石狩での農業に魅力を感じ、石狩で就農したいと思うようになったからです。

Q. 就農する方へのアドバイス

石狩は研修カリキュラムが充実しており、また就農後のサポートも手厚いので、石狩での就農をぜひご検討ください。



勝田 健司 (かつた けんじ) さん
令和5年就農 出身地：広島県

Q. いしかりで就農しようと思った動機

施設園芸で就農したいと考えていたので、ミニトマトの生産が盛んで、畑地灌漑が整備されている石狩で就農しようと思ったからです。

Q. 就農する方へのアドバイス

栽培技術はもちろんですが、受入農家さんでの研修を通じて、経営者としてのあり方などを学ぶことが重要だと思います。



小山 拓也 (こやま たくや) さん
令和5年就農 出身地：大阪府

Q. いしかりで就農しようと思った動機

都市部が近く、且つ自然豊かな環境で子育てをしながら就農したいとの思いがあったため、それが実現可能な石狩市高岡地区で就農することを決めました。

Q. 就農する方へのアドバイス

研修プログラムが充実しており、就農後のアフターケアも手厚いので、安心して就農できる環境だと思います。

就農までのフローチャート

就農相談

- ・電話やメール等での問い合わせ
- ・北海道新規就農フェア等での相談



石狩市訪問

- ・石狩市農業総合支援センターでの面談
- ・石狩市内での農業体験（複数回）



研修申込・選考通知

毎年12月に石狩市内で開催する新規就農相談会において、翌年4月からの研修申込をして頂き、研修受入農家等との面談や認定審査会での審査を経て、選考結果を翌1月下旬頃にお知らせします。
研修生の内定を受けられた方で、対象者には各種助成金等の申請準備を行います



研修開始

【研修1年目】

4月から研修カリキュラムに基づき、受入農家のもとで研修を行います
ミニトマトに限らず、他の野菜も含めた7～8か月間の実地研修に加え、冬期間の4～5か月間は簿記研修及び座学研修などを行います
就農予定地、住宅選定などもこの時期から行っていきます

【研修2年目】

受入農家のもとで基幹作物のミニトマトを中心に、実践的な研修を行うとともに、就農に向けた準備を進めます



研修終了

約2年間の研修が終了し、認定審査会での研修終了審査を経て、農業委員会の審査が行われ、最終的に新規就農認定がされるといよいよ就農です

就農

J A正組合員の加入手続き、各部会の加入手続き、利用集積の手続などを行います
また、対象者には各種助成金の申請手続きを行います

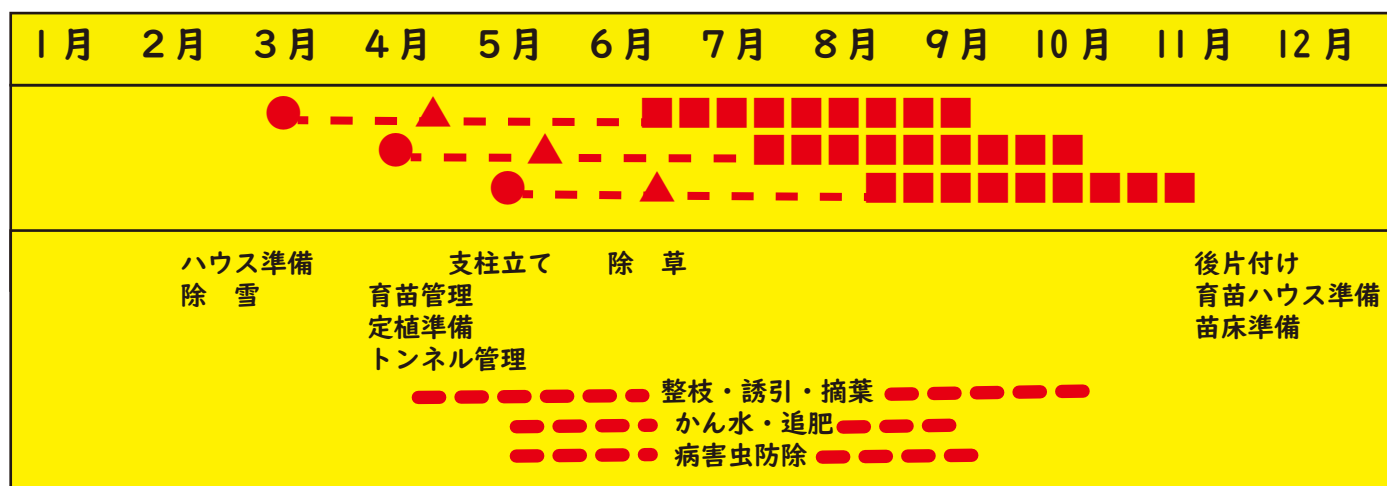


ニューファーマー支援プログラム

就農後においても育苗管理や品質管理など栽培技術を確認するためのフォロー研修を行います

ミニトマト作業体系図

育苗● 定植▲ 収穫■



営農技術習得研修

★農業経験ゼロからの支援プログラム

- ・指導農業士など当センターが認める受入農家の直接指導により、ミニトマトの作業体系に基づいた現地研修をはじめ、露地野菜や施設野菜の現地研修を約2年間行います。
- ・農業経営アドバイザーによる野菜栽培基礎研修、農業経営や農業簿記などを学ぶ座学研修実施します。
(夏季：隔週に1回、冬季：毎週1回)
- ・道立農業大学校（本別町）にて年に1回程度、新規参入者研修（農業機械や経営計画の習得）を受講していただきます。

★ニューファーマー支援プログラム

- ・就農後についても育苗管理、品質管理、病虫害などのフォロー研修を行います。
- ・新規就農者研修会（新規就農者、指導農業士、関係機関等を含めた農業技術研修会）を行います。



新規就農予定者支援（研修生）

- ①国の「新規就農者育成総合対策事業（就農準備資金）」を活用し、研修開始後最長2年間、年間最大150万円の支給が受けられます。※就農時の年齢や前年の世帯所得金額など要件があります。
- ②研修期間中における生活費の一部を石狩市とJAより助成します。（最長2年間、8万円/月）
- ③研修生等が農業大学校など公的機関で受講した研修の費用の一部を助成します。（限度額：10万円）
- ④北海道農業担い手育成センターの支援事業を活用し、大型特殊免許取得費用の一部を助成します。（1/2以内、上限5万円）
- ⑤研修生の石狩市内における居住住宅をご紹介します。
- ⑥新規就農時における農地の紹介を行います。（可能な限り複数の候補農地を提示します。）



新規就農者支援

- ①国の「新規就農者育成総合対策事業（経営発展支援事業・経営開始資金）」を活用し、就農後3年間で最大825万円の支給が受けられます。※就農時の年齢や前年の世帯所得金額など要件があります。
- ②石狩市より「就農応援金」として、100万円を助成します。（1回限り、親元就農を除く）
- ③石狩市より就農時の農地賃借料の一部を助成します。（1/2以内、最長3年間助成 ※5年以上の契約が必要）
- ④石狩市より市内借家の家賃の一部を助成します。（1/2以内、上限2万円/月を最長3年間助成）
- ⑤JAより就農時設備投資支援助成が受けられます。（上限50万円、1回限り）
- ⑥青年等就農資金、経営体育成強化資金等の融資借入時における事務支援を行います。
- ⑦農機シェア事業の利用料の一部を支援します。（最長3年間）

Be a farmer in Ishikari right now!



【お問い合わせ先】

〒061-3361

北海道石狩市八幡2丁目332番地11

石狩市農業総合支援センター

TEL 0133-66-3345 FAX 0133-66-3335

Mail: ishishien@city.ishikari.hokkaido.jp

HP: <https://ishikari-asc.jp/>



↑ 当センターHP



↑ プロモーション

動画